

吉川の良さをみんなで守るため しっかり**発言**きちんと**報告**

吉川の良さを生かしてこそ、みんなが望むまちづくりです。
議会のたびにしっかり発言し、週1回「市政レポート」をお届けしてきました。これからも全力でがんばります。



県立柿崎病院の存続へ 病院後援会の再結成に尽力

合併の少し前、吉川、柿崎、大湊で
つくっていた「柿崎病院後援会」が解
散。その直後、県立病院の統廃合計画
の発表で、柿崎病院の存続が危ぶまれ
る事態になりました。
橋爪議員は、柿崎病院後援会の再結
成を提案し、多くの方々の尽力で実現
しました。病院の存続・充実にがんば
ります。

「13区議員の会」の 縁の下を支え役

大湊区選出
柳沢周治 市会議員

合併協議で合意された、地域事業費の2
割削減が突然発表されました。
上越市と合併した13の区(町村)の議員
が一堂に会して、13区の思いを市長に申し
入れました。
この「13区議員の会」の代表世話人が中
郷区の吉田議員で、事務局を橋爪議員から
担ってもらっています。

いつも感心するのは 吉川への熱い思い

浦川原区選出
山崎一勇 市会議員
(元浦川原村議会議員)

私は、議会の席が橋爪さんのとな
りです。質問の息づかいまで知ってい
ます。感心するのは、ふるさと吉川の
ことがよく出てきて、それがよい答弁
を引き出すうえで、とても効果的な
ことです。

これからもいっしょに、合併した13
区(旧町村)のために、また上越市全
体のために仕事をさせていただきたい
と思います。



キクザキイチゲ

吉川民報

2007年12月 号外
日本共産党吉川支部

日本共産党吉川支部の見解をお知らせします。
ご意見・ご感想をお寄せください。
【連絡先】 有線4867 電話548-3628

この人は、人にやさしい。ふるさとにやさしい。
ふるさとの自然にやさしい。
どうしてこんなに、やさしいのだろうか？

やさしい祖父、父母、兄弟のなかで育った。
やさしいふるさとの人々、
地域の人々に恵まれて育った。

橋爪さんは共産党員だというから、強い人なのだろう。
でもその強さは、やさしさと溶け合っている。
橋爪さんは、やさしいから強くなり
強いからこそ、やさしい人なのだと思う。

国際啄木学会前会長

近藤 典彦

国際啄木学会は石川啄木の研究団体

日本共産党

はしづめ法一

酪農しながら、26年間発言 涙が止まらなかった最後の乳搾り

議場からとび出して、背広のまま牛のお産をさせて議会に戻ったこともありました。軽トラックにはいつもカマとワラ縄を積んでいて、昼休みや役場の帰りに草刈をしたことも…。

A black and white photograph showing a man wearing a cap with the number '24', glasses, and a light-colored jumpsuit. He is leading a cow by a rope. A young child in a light-colored jumpsuit is walking next to him, smiling at the camera. They are in an outdoor setting with a building in the background.

酪農仲間に、「しかたないさ、ご苦労さんだったね」といわれたあと、軽トラックに乗って走り出したら、涙が出てとまりませんでした。



情熱、誠実、そして行動力

はしづめ法

失恋を成長の糧

人前で緊張する「アガリ症」をなおそうと、大学の「落語研究会」に入会。高座名は「えちご亭円志」で、県民会館での口演会で前座もつとめました。

お連れ合いと出会うまでは、いくつも恋をしました。映画の寅さんと同じです。まったく相手にしてもらえなかった恋、気

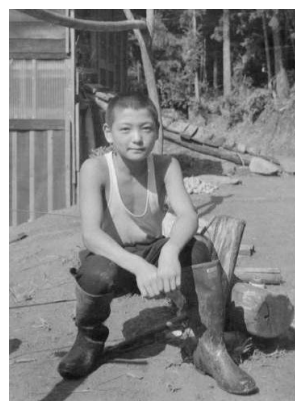
教師になるか、農業をやるか…
悩んだ末に、ふるさと吉川に帰る決意

研究者と農民を中心に、地域と農業を議論する「山形農民大学」を知り参加。そこで「君のような人こそ、ぜひ農村に戻るべきだ」と、情熱的に訴えられ、ふるさと吉川へ帰る決心につながりました。

このころ、大学の先輩から日本共産党への入党をすすめられ、「働く者、皆が幸せになる道」と、ためらいなく決意しました。

厳しい労働と暮らしのなかで
培った家族のまとまり

田畑は家族みんなの仕事場で、よく仕事を手伝いました。中学2年生のとき、「出稼ぎしなくていいように」と、お父さんが酪農を始めました。真冬に肌着一枚になって、スキー付き二輪車を2キロも押して、牛乳を出荷するお父さんの姿は忘れられないといいます。



なかなかできないことを
いつも笑顔で

口でいうのはたやすいが、実行するのはむずかしい。でも、橋爪さんはやってくれています。耳を傾け、足を運び、自分の目で確かめ、手をさしのべて。笑顔でやってくれる橋爪さんは、どうしても必要な人です。

稲作農家 武田 香

「市政レポート」は宝です

毎週でる「市政レポート」よしかわ版のおかげで、いろんな情報を知ることができます。

ここまで続けてがんばってくれるのは、橋爪さんしかないと思います。

旧吉川町農業委員 江村奈緒美